

# こおりやま 市議会だより



第193号 - 令和2年6月定例会 -



おいしい給食、みんなそろって「いただきます！」  
(富田西小学校)



発行日：令和2(2020)年8月1日  
発行：郡山市議会  
編集：こおりやま市議会だより編集委員会  
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号  
TEL 024-924-2521 FAX 024-938-2810  
メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp

## 主な掲載内容

6月定例会のあらまし、常任委員会の審査状況	2頁
議決結果等	3頁
市政一般質問	4～14頁
議会の新型コロナウイルス感染症への対応	15頁
政務活動費収支一覧	16頁
議会改革特別委員会の活動状況、議員表彰	17頁

## 令和2年6月定例会のあらまし

**新型コロナウイルス感染症緊急経済対策経費を含む令和2年度一般会計補正予算など議案45件、議案3件を可決**

6月定例会を、6月15日から6月29日までの15日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定等に続き、議会改革特別委員会から中間報告を受け、その後、市長が提出議案の提案理由について述べました。

18日から23日までは、18人の議員が市政一般質問を行いました。

24日と25日は、各常任委員会で、付託された議案40件と請願6件を審査しました。

最終日となる29日の本会議では、各常任委員会の審査結果報告を受けた後、採決の結果、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策経費を含む令和2年度一般会計補正予算(第6号)、郡山市税条例の一部を

改正する条例など議案40件を全会一致で可決したほか、請願4件を全会一致で採択し、請願2件を継続審査としました。

また、追加提出された郡山市教育委員会委員の任命、郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任など、人事案件5件に全会一致で同意しました。

さらに、「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」、「地方財政の充実・強化を求める意見書」、「東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した処理水の海洋放出に反対する意見書」の議案3件を全会一致で可決し、全日程を終了しました。

## 常任委員会の審査状況

### 総務財政常任委員会

**問** 緊急雇用対策事業とは。

**答** 新型コロナウイルスの影響による離職者やアルバイトの休業により収入が減少した学生等をパートタイムの会計年度任用職員として採用するもので、任用期間は、年度末までの間で弾力的に定める。

学生の場合は、夏休みの2か月程度を想定しており、ICT能力を活かした補助的業務や保育所、児童クラブ等での勤務を考えている。

### 環境経済常任委員会

**問** 郡山産鯉の消費拡大のため、小中学校の給食として提供するのは、いつ頃の予定か。

また、どの程度需要が落ち込んでいるのか。  
**答** 提供時期は、10月から12月を予定しており、売り上げは、昨年と比べ、3月期で9割程度落ち込んでいる。

### 建設水道常任委員会

**問** ブロック塀等安全対策事業費補助金事業は今後も継続するのか。

**答** 本事業は、地震で倒壊する恐れがあるブロック塀等の撤去工事費用を上限10万円で補助するもので、従来の国交付金に加え、今年度以降は県補助金も活用して継続する。

### 文教福祉常任委員会

**問** 新型コロナウイルスに不安を抱える妊婦へのPCR検査の実施について、事業の概要と対象者の範囲は。

**答** 7月から来年3月までに市内で出産する妊婦及び県外で里帰り出産する妊婦を対象に、かかりつけ医と相談の上、医療機関でPCR検査を実施した場合、1回に限り検査費用の全額補助を行うもので、検査を希望する妊婦全員を対象とする。

## 賛否が分かれた議案等

今定例会では、賛否が分かれた議案はありませんでした。

## 全会一致で可決した議案

補正予算	一般会計（第6～8号）
	国民健康保険特別会計（第1号）
	介護保険特別会計（第1号）
	総合地方卸売市場特別会計（第1号）
条例制定	新型コロナウイルス感染症により収入が減少した者等に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例
	郡山市税条例
条例改正	郡山市手数料条例
	令和元年台風第19号による災害の被災者に対する市民税等の減免に関する条例
	郡山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び郡山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
	郡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

条例改正	郡山市国民健康保険条例
	郡山市国民健康保険税条例
	郡山市後期高齢者医療に関する条例
	郡山市上下水道事業の設置等に関する条例
その他	郡山市介護保険条例
	工事請負契約（富久山クリーンセンター・衛生処理センター第一・第二処理施設災害本復旧工事、総合地方卸売市場水産棟・青果棟冷蔵設備改修工事）
	財産の取得（ノートパソコン、消防ポンプ自動車）
	調停案に合意すること
	連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結に関する協議（15市町村）
	専決処分承認を求めること
	郡山市教育委員会委員の任命
	郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任
郡山市財産区管理委員の選任（月形、舟津、館）	

### ■補正予算の事業一例



▲タブレットを使う児童たち  
（子供の学びを保障するICT整備）



▲磐梯熱海温泉  
（宿泊施設で実施する誘客促進）



▲患者隔離搬送用フードを装着した救急車  
（新型コロナウイルス感染症対策の推進）

## 採択した請願

次の請願を全会一致で採択しました。

- 台風19号により越水した逢瀬川堤防右岸咲田橋から開成山樋門間の可及的速やかな完成求める請願書
- 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について
- 東京電力福島第一原発事故により発生した汚染水の海洋放出に反対する請願

## 可決した意見書

次の意見書を全会一致で可決しました。

左の「採択した請願」のうち、次の3つについては、国の所管する機関等に意見書を提出します。



- 国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した処理水の海洋放出に反対する意見書

令和2年6月定例会

## 市政一般質問

● 今回の質問者数 18名

● 発言時間

質問・答弁をあわせて 60分

● 記事の内容について

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

- ・ 市政情報センター(市役所西庁舎1階)
- ・ 中央図書館・希望ヶ丘図書館
- ・ 安積図書館・富久山図書館

なお、令和2年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、9月上旬になります。



会議録検索システム

水害を踏まえた市街化調整区域のあり方について



志翔会

村上 村上天

晃一

議員



東部地区全体の都市計画道路整備が遅れている理由は

**問** 本市の都市計画道路の整備状況は東西で差が生じているが、東部地区の整備が遅れている理由は。

**答** 本市の都市計画道路は、郡山駅西側の国道4号線などの旧郡山市域の範囲で整備が行われ、その後東部地区を含めた周辺町村との合併に伴い、優先度の高い区間から順次整備を進めてきた歴史的背景により、差が生じたと認識している。

このため、昨年3月に策定した市街化調整区域地区計画運用指針や今年2月に新設した被災建築物の市街化調整区域への移転許可基準の活用について、様々な機会を捉えて周知していく。

※スプロール化：都市部から郊外に宅地が無秩序・無計画に広がっていくこと。

内環状線の未整備区間の整備を進めている。



内環状線の未整備区間



立憲民主党

吉田 よしだ

公男 きみお  
議員



### 市役所西庁舎東側の歩道 新設について

**問** 市役所西庁舎東側には歩道がなく、ユニバーサルデザインとは言えない状況のため、新たに歩道を敷設すべきでは。

**答** 1月に「市民協働のまちづくり推進協議会ユニバーサルデザイン検証専門部会」を開催し、西庁舎東側通路については、路面の傾斜や材質の改善などについて提言を受けたことから、車いすの方も安心して通行できるように、改修に向け準備している。

今後も、市役所利用者の安全確保、利便性の向上に取り組んでいく。



市役所西庁舎東側通路

### 学校給食の無償化について

**問** 平成29年9月定例会で採択した「郡山市内小中学校の給食費の無償化を求める請願」について、既に無償化を行う市町村もあることから、子どもたちのためにも、本市でも前向きな検討が必要では。

**答** 年間給食費約14億3千200万円を市が負担した場合、市の財政運営や将来の安定的な学校給食運営に支障を来たすことが懸念されるため、食材費は保護者負担としている。

一方、新型コロナウイルス感染症により各家庭での様々な影響が考えられることから、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とし、本年度第2学期の食材費の2分の1を支援する補正予算を本定例会に上程した。

### 市内でのイベント開催の 後押しについて

**問** うねめまつりなど中止に追い込まれたイベントの予算を、本市の経済活性化のための取組みとしてイベントを企画した団体等に対して、場所の提供や補助金を出す等に活用すべきと考えるが見解は。

**答** イベント開催に係る補助金や市が行う後援等の支援は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、事業の目的及び内容により、個別に判断していく。

なお、開催にあたっては、オンライン活用も含め、新しい生活様式に対応するイベントの在り方などを、関係団体等と協議していく。



新しい生活様式での催事の企画会

### 避難所の民間施設の活用について

**問** 県は避難所での新型コロナウイルス感染症防止に向け、民間のホテル等の活用と、経費の一部を補助する方針を示した。

感染リスク等の高い方々の避難先として、民間施設を活用した避難所を確保するべきと考えるが見解は。

**答** 感染症による重症化リスクの高い妊婦等の要配慮者が感染しないよう、感染症対策を踏まえ新しい生活様式を取り入れた避難所の拡充が急務であるため、郡山市旅館ホテル組合等と避難者受入れの協議を行った。

今後も、さらなる避難場所の確保を図るため、専門学校などの民間施設や関係団体等と協議を積極的に行っていく。



郡山市議会公明党

山根 やまね  
悟 さとむね  
議員





無所属の会

やない  
菅内

よしひこ  
好彦  
議員



不動産事業者等が家賃減免  
に応じない場合の対応は

**問** 本市の事業継続応援家賃等補助金は、休業事業者ではなく、家賃等を減免又は猶予した不動産事業者等に対するもので、結果、休業事業者をも支援する内容だが、休業事業者からオーナーに家賃減免に応じてもらえないとの声があるが、本市の対応は。

**答** 事業実施前から、不動産関連団体等に対し、訪問説明や協力依頼を行ってきた。

減免に応じてもらえない場合の対応等の相談が数件あったが、チラシの配付等や必要な場合には直接オーナーへ説明等をする旨を伝えたところ、これまで減免に応じてもらえなかったといった連絡はない。今後も周知に努め、雇用の維持や事業の継続に取り組む。

国民健康保険税の減免に関する  
事業収入等について

**問** 今回提案された減免に関する条例に事業収入等が3割以上減少とあるが、感染症の終息が見通せない中で、どのように前年の事業収入等と比較すれば良いのか。

**答** 国から令和2年中の事業収入等の算出は、申請時点までの一定期間の帳簿や給与明細書の写し等の提出とともに、今後の収入の見通しを立てることにより収入見込みとすることが示されている。

減免基準である事業収入等の比較は、令和2年中の収入見込みと令和元年の確定申告書の写しや源泉徴収票等と比較することとしている。



東北SDGs※未来都市  
サミットについて

**問** 東北初のSDGs自治体モデル事業に選定され課題解決先進都市を自称する本市は、なぜ市長自らが出席せず、副市長の参加となったのか。

**答** 市長がサミットに参加する方向で調整していたが、駅前地区の賑わい創出と地域経済の活性化に大きく貢献された経済人の告別式における弔辞の依頼があり、告別式に参列することとした。

日頃から、重要な公務が重なることがあることから、副市長が代理出席する場合も多く、地方自治法の規定により、副市長の代理出席で対応した。



5都市によるサミット

コロナ禍での若者の  
Uターン促進支援について

**問** 新型コロナウイルス感染症の第二波の到来に備え、本市でも県外に住む本市出身の若者が再び戻ってくる契機となる支援を実施すべきでは。

**答** 本市では、Uターンを含む移住政策として、首都圏での移住関連イベントに出展し、移住希望者の相談を受けたほか、地元企業の良さなどについて情報発信を行ってきた。

また、東京圏から移住を促進するための国の地方創生推進交付金を活用したUIJTアーン支援事業に着手した。今後も、若者が生活する場所として本市を選んでもらえるよう、多様な魅力の発信に努める。

※SDGs（持続可能な開発目標）：「誰一人取り残さない」社会実現のために先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく国際目標。



志翔会

もりあい  
森合

ひでゆき  
秀行  
議員



社会民主党  
柳田 やなぎだ

尚一 しやういち  
議員



市役所におけるテレワーク  
について

**問** 今定例会で、ICTの活用による働き方改革として、テレワークに活用できる業務用PC600台を整備する予算が計上されているが、テレワークについての勤務規定などの整備も必要では。

**答** テレワークの実施拡大にあたっては、業務カイゼンやキャッシュレス、ペーパーレスなど5Rの取組みを更に強化するなど、業務の在り方について見直しを図る。  
また、職員の勤怠管理、人事評価や健康管理、情報流出対策等のリスク管理などに留意しながら、本格実施に向け、より活用しやすい制度となるよう規定を整備していきたい。

市内の農産物直売所への  
助成について

**問** 農産物直売所の持つエネルギーと発信力は、地域の情報交換や連帯感の高揚にもつながる。

地域団体や個人で運営する農産物直売所に対して、どのような支援を行っているのか。

**答** 多くの消費者に直売所を利用してもらうため、SNSで生産者の活動及びその生産者の生産物が入手できる直売所を紹介しているほか、ウェブサイトで各直売所を紹介するなどの事業を展開している。農産物直売所は地域食文化の拠点であることから、今後も積極的な支援に努めていく。



地域団体による農産物直売所

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～

	請 願	陳 情
受付	市政一般質問初日の午後5時 ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時 ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。</li> <li>●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●陳情書の写しを各議員に配付します。</li> </ul>

**請願書** 年月日

郡山市議会議長様  
(請願者住所)  
(請願者氏名)  
(紹介議員) ㊟

〇〇〇について  
請願趣旨  
請願事項

紹介議員が  
必要



紹介議員は  
不要

**陳情書** 年月日

郡山市議会議長様  
(陳情者住所)  
(陳情者氏名) ㊟

〇〇〇について  
陳情趣旨  
陳情事項



新政会 会田 あいた

一男 かずお 議員



阿武隈川の復旧状況について

**問** 令和元年東日本台風の復旧対応が進んでいるが、阿武隈川の富久山クリーンセンターの対岸に堆積している土砂等は、洪水の時に流れを阻害するのではと心配である。本市が把握している国の対策は。

**答** 国は阿武隈川の治水対策として、郡山地区河道掘削事業、安原地区堤防浸透対策事業及び、御代田地区の堤防整備事業を実施しているところであり、富久山クリーンセンターの対岸についても、樹木伐採・河道掘削を実施していく予定である。

市として国へ予算措置や早期実施について、強く要望していく。

野生イノシシの徹底駆除について

**問** 原発事故以来、野生イノシシの捕獲頭数が減少し、個体数が爆発的に増え、本市でも、今まで生息が確認されていなかった地域に多数入り込んで農作物を荒らし、田や畑の畦などを破壊している。個体数調整ではなく徹底駆除を行うべきでは。

**答** 野生イノシシ等の捕獲については鳥獣被害防止計画で年間捕獲計画数を設定後、県の許可を受けて実施している。これまで設定していた年間500頭を、昨年度から年間900頭に設定変更し、更なる個体数調整に努めている。



旧福島県農業試験場本場跡地等周辺地区の開発整備は

**問** 本市ではメディカルヒルズ郡山基本構想20を推進し、医療機器関連産業集積を図っているが、このエリアの県有地を払下げてもらい、本市が主体的に開発整備に取り組む事で早期の集積を図ることができると考えるが見解は。

**答** 当該地の県有地の取扱いに関して、昨年3月27日に県へ県有地の活用・処分に関する要望書を提出した。

市としては、市街化調整区域地区計画運用指針を策定し、事業者等による開発が可能となったことから、今後開発整備に向けて、県と協議・調整を進めていく。



広大な旧農業試験場跡地

第二波に備えた子供たちの学習環境への対応について

**問** 「1人1台端末」「高速通信ネットワーク」「オンライン学習環境」の一体整備が構築される前に、第二波が発生し、再度臨時休業となった場合、子供たちの学習環境をどのように対応していくのか見解は。

**答** 1人1台端末の整備完了前に再び感染拡大等が起きた場合には、分散登校をはじめ、家庭の端末や学校の整備済み端末の持ち帰り等によるオンライン授業を検討している。

また、前回の臨時休業中の対応と同じく、全ての児童生徒が計画的に学習を進められるよう「家庭での時間割」等の配付や市ウエブサイト内に学習支援コンテンツポータルサイトを掲載するなど、学習環境の整備に努めていく。



志翔会 佐藤 さとう

栄作 えいさく 議員





国民民主党

渡部 たくはへ

龍治 りゅうじ  
議員



子供の学びを保障する  
ICT整備について

**問** 授業の映像配信関係や、学校の先生がICTに対応した授業の作り方等、専門家によるセミナーや、実務講習会等の開催が必要と考えるが見解は。

**答** 17名の指導主事によるICT出前講座や授業づくり学習会、専門家によるセミナー等の研修を計画しており、オンライン授業に使用する授業支援ソフトウェアとWeb会議システムの操作マニュアルの説明のほか、実際のオンライン授業の様子を紹介する予定である。  
オンライン授業の実施にあたっては、16の小学校に9月から支援員を配置するなど各学校を支援し、ICT教育の充実に努めていく。

ICTの活用による働き方  
改革の推進について

**問** 本市職員のテレワークによる行政業務にはどのようなものがあるか。

**答** セキュリティが確保された専用端末を用いることにより、在宅やネットワーク環境が整ったサテライトオフィスなどにおいて、庁内のメールシステムや文書管理システムの利用等、執務室のパソコンと同様の処理を行うことが可能である。

このため、各種業務に係る資料作成等のほか、メールの送受信や各種起案、研修受講など、多様な業務に対応できるものと考えている。



志翔会

川前 かわまえ

光徳 みつひ  
議員



本市の経済対策の不足について

**問** 緊急事態宣言により活動の停止を余儀なくされた本市の経済は、活力を取り戻すためにまだまだ時間を要する。事業者を破産させないように取り組むには対策が足りず、積極的に危機感をもって経済対策を実施するべきでは。

**答** 経済危機を乗り越えるためには、産業構造自体の転換を図ることが重要であり、産学官連携による再生可能エネルギーの研究、農商工連携や海外への販路開拓など、こおりやま広域産業界全体の経営体質強化に繋がると考え、投資的経済政策に取り組んでいる。  
今後も、事業者が安心して事業を継続できるよう多面的で持続的な支援に取り組む。

台風第19号の被害に対する  
更なる被災者支援について

**問** 台風第19号の被災者は、復旧の為の支出にコロナ禍の影響も重なり、苦しんでいる。市県民税や法人市民税、事業所税等を減免すべきでは。

**答** 市県民税は、災害後に納期限が到来する税額を減免し、今年度は、生活が著しく困難な場合、個別に減免するため、台風被害に伴う更なる減免は、現時点では考えていない。  
法人市民税は、その損失分が法人税割額に反映されており、減免は考えていないが、納付猶予などの支援を行っている。  
事業所税は、令和3年10月31日までの事業年度に限り減免している。





緑風会 **名木** なぎ  
敬一 けいいち 議員



**大規模災害時の指定避難所への避難経路について**

**問** 台風19号で開設された富久山町の避難所全てが東北本線西側にあり、水害時にアンダーパスは通行できない。

東北本線東側の避難所開設や、緊急時の避難経路を確保するなどの対策が必要では。

**答** 富久山町の東北本線東側はハザードマップ上浸水深3m以上の場所が多く、避難所設置は難しいため、垂直避難に対応できる民間施設等の避難所確保を検討する。

避難経路は、道路状況・アンダーパスの浸水状況等様々なケースが想定されるため、早期避難のお願い等、市民とともに課題に取り組んでいく。



富久山町のアンダーパス

**富久山町福原地区の内環状線舗装面の修繕について**

**問** 郡山東インターチェンジを利用する大型車の通行量が著しく増加し、舗装面の劣化が急速に進んでいる。

令和元年9月定例会では、財源確保に向け、国等に要望をしていくと述べていたが、その後の進捗状況は。

**答** 県道須賀川二本松線から福原地下道までを道路舗装面の修繕が必要な区間として、内示を受けた交付金を活用し、当該区間の設計委託を実施する予定である。

引き続き、国・県に対して、要望を行うとともに、AI等を活用し、道路施設の安全性の確保等に努める。



社会民主党 **八重樫** やえがし  
小代子 さよこ 議員



**就労支援としての会計年度任用職員の採用について**

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大により、雇い止めや内定取り消しなど問題を抱える市民への就労支援として、会計年度任用職員に採用すべきと考えるが見解は。

**答** 厳しい雇用環境が続く中、離職された方や求職中の方、大学等を卒業された方など115人を、4月から会計年度任用職員として採用し、その後も4人を採用するなど就労支援と人材確保に努めた。

さらには、更なる雇用の創出と就業支援、地域経済の安定を目的に、新たに緊急雇用対策事業として感染拡大の影響により離職した方等を対象に会計年度任用職員として47人の採用を予定している。

**避難所における感染症対策について**

**問** 気候変動による災害時の避難所における感染症対策には、地域医療との連携や保健師などの専門スタッフによる医学的なケアが必要であると考えるが見解は。

**答** 令和元年東日本台風による避難所においては、保健師による避難所巡回訪問を避難所開設76日のうち61日間、延べ2千212人に実施した。

また、県と連携のもと、郡山医師会と市保健師による健康チェックを延べ3日間実施し、47名の高齢者にインフルエンザの予防接種を行った。今後も関係機関と連携し、感染予防対策に取り組んでいく。





新 政 会  
折 笠 正  
お り か さ た だ し  
議 員



### 農地、農業用施設の復旧 見通しについて

**問** 令和元年東日本台風による被災農地や農業用施設復旧工事の今後の工程は。

**答** 河川敷内の頭首工は、仮設工事を終え、暫定的な取水を可能としており、本復旧工事については、河川の濁水期となる11月以降に着手する。

河川災害に隣接する被災農地の復旧は、河川災害復旧工事と調整を図る必要があることから、河川管理者である県と協議を行いながら進める。

仮の畦畔を設け作付けされた水田等農地の復旧工事は、秋の収穫後、速やかに工事に着手できるように、被災農家と協議を行いながら進める。

今後も、関係機関との連携を図りながら、今年度内の完了を目指し、工事を進める。

### 販路拡大対策について

**問** 新型コロナウイルス感染症による飲食店の休業や学校給食の中断で、一部の農畜産物が供給過剰になったことを受け、市ではどのような施策を実施してきたのか。

**答** 関係者の過剰在庫解消が図られるよう、消費者とのマッチングサイトを開設したほか、牛乳消費維持のため、市立小中学校の児童生徒等へ牛乳の提供を行った。

また、児童扶養手当受給世帯児童等の栄養支援と家計負担軽減のため、郡山産米を配付し学校給食用米の在庫解消を図るなどの施策を実施してきた。



## 市議会ウェブページ

本会議や委員会の会議録、市議会中継などが御覧いただけます。  
詳しくは郡山市ウェブサイトのトップページから、「郡山市議会」をクリックするか、「郡山市議会」で検索してください。



郡山市ウェブサイトアドレス  
<https://www.city.koriyama.lg.jp/>

郡山市議会



市議会ウェブページ  
QRコード



緑風会 諸越 裕 議員



**大槻小学校南の「志ろもとば志」改修について**

**問** 郡山湖南線から大槻小学校に行く際に大槻川を渡る橋が「志ろもとば志」である。橋の部分が極端に狭く、子供たちの通学の安全確保のため、早急に改修すべきでは。

**答** 当該箇所は、5月に開催した通学路安全推進協議会において通学路交通安全プログラムの中の新たに合同点検が必要な箇所位置づけられた。9月に実施する合同点検の結果を踏まえ、必要な安全対策の実施について具体的に検討していく。



道路が狭まる「志ろもとば志」

**大槻町上町地内県道郡山湖南線の歩道の改修について**

**問** 県道郡山湖南線の大槻郵便局から県道郡山矢吹線と交差する間の歩道は、側溝にふたをかけただけの上を利用していて、高低差が激しく、高齢者にとっては非常に不自由な歩道である。

**答** この歩道の改修を県に強く要望すべきでは。

**問** これまで県に対し、歩道がない県道芦ノ口大槻線との交差点前後約20メートル区間の歩道設置を要望しており、「市道大町大槻線の道路事業と調整を図りながら、早期完成に向け事業を推進していく」との回答を受けている。

**答** 県道郡山矢吹線までの区間も、7月開催予定のまちづくり意見交換会で、歩道改修について県に強く要望していく。



郡山市議会公明党 田中 光夫 議員



**自家用車による避難について**

**問** 3密を避けるため、避難所施設の収容人員が減ることは明らかだが、避難所の増設には限界があり、新たな避難形態を検討しなければならぬと思うが、そこで自家用車による車中避難者に対し、校庭を開放し、一時的な避難を行ってはどうか。

**答** 令和元年東日本台風時に避難した人のうち、車を利用した人の割合を調査したところ、89.4%となり、十分な体制が必要と考えている。

小中学校の校庭や公共施設、浸水想定区域外の公園等の駐車可能台数等を調査し、利用できるよう準備していく。

また、大規模駐車場等を有する民間事業者と協定締結に向け、作業を進めている。

**学校の消毒・清掃等業務の外部委託について**

**問** 先生方は、検温・消毒・清掃と感染症対策への取り組みを全力で頑張っている。長期化することを考えると、本市として、消毒・清掃等の業務を外部委託することで、先生方の負担を減らし、教育現場を守る最大の効果があるのではないかと。

**答** 消毒や清掃活動については、教職員の負担が最小限となるよう分担して行っていく。トイレ清掃については、感染防止や教職員の負担軽減を図る観点から、専門的な知識・技術を持った専門業者へ業務委託していく。





志翔会 久野 ひさの

三男 みつお 議員



### 小規模多機能型居宅介護について

**問** 平成24年度からサテライト型の小規模多機能居宅介護が制度化され、より身近にアットホームなサービスを提供できるなど、利用者の要望に沿った運営ができる介護施設であると思いが見解は。

**答** 第七次介護保険事業計画における小規模多機能型居宅介護の整備が、目標値である3事業所に対し、2事業所の整備にとどまる見込みであるが、サテライト型は人員配置が有利になり、運営規模が大きくなること、スケールメリットや、利用者もサービスの選択の幅が広がる等のメリットがあるものと認識している。次期計画策定の中で、サテライト型の事業所を明確に位置付け、整備を推進していく。

### 専門家からの意見聴取について

**問** 旧豊田貯水池活用懇談会において、民間ディベロッパー等、土地の開発やまちづくりの専門家から、市中心地のご真ん中にある広大な8haの土地が持つポテンシャル等の意見を聴取しては。

**答** 利活用方針（案）の策定後は、整備計画の具現化に向け、実現可能性等について、資金調達の観点や市の各種計画との整合性、さらにはグリーンインフラによる水害抑止の視点など、多くの事業者との対話を通じて意見・提案を求めるサウンディング調査等により、多様な意見を聞く機会を設けていきたい。



現在の旧豊田貯水池

### 市営住宅の拡充について



虹とみどりの会

蛇石 へびいし 郁子 いくこ 議員



**問** 自然災害の加速化やコロナ禍の経済変化等の影響で、住み替えが必要となる方や住まいに窮する方は増加すると予想され、時代に合った安全で清潔な市営住宅の拡充が求められている。

**答** 耐用年数が過ぎている住宅については、順次解体する一方、耐用年数に満たない住宅については、長寿命化を図るため、効果的、効率的な維持管理を推進している。今後は、既存ストックの活用を適正に図るため、適切な維持管理を行い、特定財源を確保しながら長寿命化を進める中で、安全性や居住性の維持、向上に努めていく。

### 温暖化対策の更なる推進と見える化について

**問** これまでの取組みの成果の公表、環境家計簿アプリ利用の更なる市民参加や総合戦略の公表など、どのように見える化を図っていくのか。

**答** 温室効果ガス排出量等の環境指標や市環境審議会による各種事業に対する評価・検証結果、策定中の総合戦略の関係資料を市民と共有が図られるようウェブサイトで公表している。

環境家計簿アプリについては、今年度、企業等との連携による普及拡大に取り組む。

今後も、創意工夫による見える化を図り対策を推進する。



環境家計簿アプリ



日本共産党郡山市議団

たかはし よしはる  
高橋 善治 議員



**事業継続資金の給付による支援について**

**問** 国の持続化給付金は、売上減少50%以上を条件にしており、その対象外の事業所が事業継続を図る事ができるよう、本市は事業継続資金の給付による支援を行うべきでは。

**答** 資金調達支援パッケージとして、融資制度や宿泊・飲食業等応援クラウドファンディング事業、事業継続応援家賃等補助金などを設けた。

また、経営体質強化支援パッケージとして、テレワーク関連支援やテイクアウトなど飲食業者の新分野開拓・経営改善に対する支援、さらには、宿泊・飲食業者等へ新しい生活様式に対する支援とともに国・県・市の支援策を有効に活用するための経営相談ハンズオン支援等を実施している。

**障がい者就労支援施設利用者のバス運賃補助について**

**問** 路線バスで事業所へ通勤する利用者は、通勤費を支払うと残りわずかで、働いたお金でものを買う喜びを味わうことができない。

働く意欲を高めるためにも、バス運賃の補助制度が欲しいとの意見に、市は応えるべきでは。

**答** 事業所の送迎やバス等の通所は約30%で、その他は家族の送迎等で通所している。この状況を踏まえ、交通費助成については、事業所や利用者へのアンケートで通所方法等の実態やニーズの把握を行うとともに、助成実施自治体の状況を調査研究し、検討していく。



**臨時会を開催しました**

**令和2年第1回臨時会**

新型コロナウイルス感染症に関し、緊急に対処すべき施策を審議し、特別定額給付金事業328億2千126万円を含む一般会計補正予算ほか1件を全会一致で可決しました。

■開催日

5月1日

■提出議案と主な事業

- ◇一般会計補正予算(第3号)
- ・特別定額給付金給付事業
- ・子育て世帯臨時特別給付金事業
- ・事業継続応援家賃等補助事業
- ・新型コロナウイルス対策医療機関支援事業
- ◇郡山市新型コロナウイルス感染症に係る発熱外来診療所の設置に関する条例

**令和2年第2回臨時会**

新型コロナウイルス感染症による市民生活等への影響を踏まえた、議員の期末手当に関する条例の議案案など、4件を全会一致で可決しました。

■開催日

5月29日

■提出議案と内容

- ◇一般会計補正予算(第5号)
- ◇水道事業会計補正予算(第1号)
- ◇郡山市長等の期末手当の臨時特例に関する条例
- ◇郡山市議会議員の期末手当の臨時特例に関する条例
- ・議長、副議長、議員、市長、副市長、教育長、代表監査委員、上下水道事業管理者の令和2年6月期末手当を減額し、全体で1千240万6千円を減額しました。

## 議会の新型コロナウイルス感染症への対応

### ■要望書の提出

市議会災害対策会議において、各議員に寄せられた市民の声を取りまとめ、迅速な対応を求めため、2回にわたり市長に要望書を提出しました。

#### ◇提出日

(第1回) 4月27日  
(追加要望) 6月10日

#### ◇要望内容

- ・情報発信について
- ・感染拡大防止及び福祉対策に関する要望
- ・緊急事態宣言による景気後退に対する要望
- ・市民生活・地域経済に対する支援について

### ■議事運営の取組み

本市議会では、議員・職員をはじめ、傍聴者の安全と感染予防を図るため、4月30日の議会運営委員会において、次の取組みを実施することとしました。

- 1 会議出席者はマスクを着用すること
- 2 会議出席者は各自検温を行い、体調不良時は出席を自粛すること
- 3 会議における当局への出席要求は最小限とすること
- 4 会議傍聴の自粛を要請すること
- 5 質疑(答弁)、委員長報告、討論等を簡潔に行うこと
- 6 議会棟に消毒液を設置すること
- 7 会議時は窓及び扉を開放し、換気を行うこと
- 8 会議時の濃厚接触を可能な限り回避すること

### ■市議会災害対策会議の開催

郡山市議会BCP(業務継続計画)に基づき、新型コロナウイルス感染症への対策のため、4月24日から随時、郡山市議会災害対策会議を開催しています。

#### ◇構成

議長、副議長、各会派代表者

#### ◇活動内容

各議員に寄せられた市民の声を集約し市への要望書を取りまとめたほか、6月3日の会議では、6月定例会の議事運営に係る次の事項等を協議し、議会運営委員会へ申し送りをしました。

- ・濃厚接触を避けるため、本会議の市政一般質問は交代出席とし、半数の議員は別室で議会議中継を視聴する。
- ・議案調査の日程変更により会期の短縮を図り、議会の迅速な意思決定を行う。



品川市長に要望書を手渡す七海議長ら



▲交代出席で行う本会議



▲必要最小限の出席とした当局席



▲マスクを着用して会議を行う市長や議長



▲別室で議会議中継を視聴する議員



▲座席間隔を確保して行う議案調査



▲扉を開いて本会議を行う議場

## 令和元年度下期分 政務活動費収支一覧



各会派から議長へ政務活動費の収支報告がありましたので、その内容をお知らせします。



会派名 項目	志翔会 (12人)	新政会 (9人)	郡山市議会 公明党 (4人)	緑風会 (4人)	社会民主党 (3人)	日本共産党 郡山市議団 (2人)	虹と みどりの会 (1人)	無所属の会 (1人)	立憲民主党 (1人)
会派への交付額	7,200,000	6,000,000	2,400,000	2,400,000	1,800,000	1,200,000	600,000	600,000	600,000
支出額	5,204,125	1,936,320	1,344,838	1,298,973	1,440,510	1,174,271	550,391	113,047	40,759
支出 内 訳	調査研究費	51,600	284,980	0	439,720	0	0	0	0
	研修費	573,960	0	369,000	0	0	0	0	0
	広報費	2,650,245	1,062,457	499,015	462,566	1,391,566	1,081,707	499,400	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情 活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	100,555	37,214	3,964	35,970	0	0	0	0
	資料購入費	492,585	270,020	205,454	129,013	31,869	92,564	38,025	64,258
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	1,169,140	79,932	100,433	171,669	6,655	0	12,966	48,789
通信運搬・ 自動車燃料費	166,040	201,717	166,972	60,035	10,420	0	0	0	
差し引き額 【市への返還額】	1,995,875	4,063,680	1,055,162	1,101,027	359,490	25,729	49,609	486,953	559,241
会派執行率(%)	72.28	32.27	56.03	54.12	80.03	97.86	91.73	18.84	6.79

※会派名、所属議員数は、令和元年度末時点のものです。

(単位：円)

## 政務活動費について

## ■政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として支給されます。

## ■本市議会の交付概要

会派(所属議員が1人の場合を含む。)に対し、議員一人当たり月額10万円が支給されます。

## ■収支報告

会派は、収支報告書等を作成し、領収書などを添付して、議長に提出します。

## ■情報公開

収支報告書や領収書等の写しは、市議会ウェブページのほか、次の場所で閲覧できます。

- ・市政情報センター(西庁舎1階)
- ・議会事務局(西庁舎6階)

## ■政務活動費の主な費目とその内容

調査研究費	市の事務、地方行財政等に関する調査研究(視察旅費など)
研修費	研修会を開催する経費、研修会の参加経費(参加負担金など)
広報費	会派の活動、市政について住民に報告する経費(広報誌印刷代など)
資料購入費	図書、資料等の購入(参考図書など)
事務所費	事務所の設置及び管理経費(事務機器リース代など)

### 議会改革特別委員会の活動状況

4月14日、24日、5月12日、25日、6月8日開催の委員会において、協議・決定された事項は次のとおりです。

#### ■決定された事項

- ◇住民等の参加について
  - ・議会報告会・意見交換会を開催するとともに、議会モニターを実施する。
  - ・議会報告会等の実施主体として、新たに（仮称）広聴広報委員会を設置する。

◇市議会議員一般選挙の時期について

- ・統一地方選挙の時期に戻すことについて、各議長会を通じ、要望につなげていく。

◇会派構成人員数について

- ・交渉会派の人数を3人以上とする。

◇政策立案機能の強化について
 

- ・郡山市議会政策等調査検討会を積極的に活用していく。

◇常任委員会について
 

- ・所管は現状どおりとする。

◇本会議の列席説明員について
 

- ・現状どおりとする。

◇通年議会について
 

- ・今後も調査研究を進める。

◇行政調査のあり方について
 

- ・調査結果を本会議等において政策立案等に活用していく。

#### ■協議された事項

◇正副議長の立候補制について

今後、議会改革の推進及び議会のあり方についての調査・研究に努めて参ります。

### 議員表彰

5月27日付けの第96回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたる地方自治発展への尽力に対し、次の議員が表彰されました。

#### ■議員25年以上表彰

- 高橋 善治 議員
- 八重樫 小代子 議員

#### ■議員15年以上表彰

- 蛇石 郁子 議員

また、全国市議会議長会理事としての功績により、感謝状が贈呈されました。

- 七海 喜久雄 議長
- 佐藤 政喜 議員



### 議会の傍聴



本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。議会の傍聴は、市政の運営を知り、市民の皆さんが選んだ議員の活動状況などを理解する一つの方法です。



	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30分前から	会議開始 40分前～20分前

# 9月定例会開催予定

※正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。  
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1	2	3	4	5
			休会	本会議一開会	議案調査(休会)	休会
6	7	8	9	10	11	12
			休会	事務整理日(休会)	本会議(市政一般質問)	休会
13	14	15	16	17	18	19
			休会	常任委員会	事務整理日(休会)	本会議一補正予算等先議
20	21	22	23	24	25	26
			休会	休会	休会	決算議案書熟読日(休会)
27	28	29	30	10/1	2	3
			休会	決算特別委員会	休会	休会
4	5	・本会議の様子を市議会ウェブページから生中継いたします。 ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ(月曜日を除く。)でも御覧いただけます。 ・録画中継は、生中継の4日後(土・日曜日及び祝日を除く。)から公開します。				 市議会中継 QR コード

### 市議会のはなし

市議会のしくみを分かりやすくまとめた冊子を発行しています。



### こおりやま市議会だより

- 行政センター、公民館、図書館などの公共施設に配置しています。
- 視覚が不自由な方のために、点字版・音声版を発行しています。



編  
集  
後  
記

今号の表紙写真は、富田西小学校における給食風景です。一応の収束を見せた新型コロナウイルス感染症ですが、第2波、第3波の襲来も予測されており、ウィズコロナの日常生活が求められています。

議会も、本会議の交代出席など感染対策を取りながらの審議でしたが、一般質問に18名が立ち、その多くが新型コロナ問題を取り上げるなど、コロナ後の市民生活と市政の在り方を真剣に模索しています。コロナ後の社会を以前より良い社会にできるよう、皆様のご意見を議会にお寄せください。(岡田)